

<校務利用> ④生成AIを活用した校務支援 ～校務用既存データを学習させたGPTによる文書の自動校正～

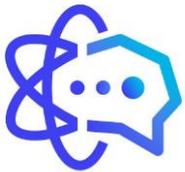
【内容】

対象 専任教員

- 概要
- ①校務用既存データを校内GPTに学習
 - ②文書作成における自動校正機能の実装

【使用アプリ・学習データ】

校内GPT



学習する校務用既存データの例

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> あいさつ あいづち あいにく あいまい あう | <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ (×挨拶) ・相づち <li style="padding-left: 20px;">相づちを打つ ・あいにく (×生憎) ・あいまい (×曖昧) ・合う <li style="padding-left: 20px;">(計算が) 合う <li style="padding-left: 20px;">(目が) 合う |
|--|---|

校内GPT
(テキストデータの学習が可能)

- ・PDFデータをテキストデータに変換
- ・情報をGPTが理解できる形式に「翻訳」
- ・校内GPTの機能として実装する

【操作画面】

【成果と課題】

- 資料・文書の作成における事務処理に多くの時間を要している現状がある。文書校正を自動化することで、公文書作成・点検のフローを効率化できる。そのため、事務処理時間の短縮、決裁の迅速化が期待できる。
- 既存データのテキスト変換・翻訳作業には、相当の時間と労力が発生する。今回は伴走する外部人材のサポートを得たが、今後は回答の精度を保ちつつ工程を少なくするためのプロセスを検討したい。